

受験番号	UM
------	----

令和3年度山梨大学医学部看護学科推薦選抜入学試験問題用紙

小論文 I

問 次の文章から、小林秀雄が言う「学問」とは何かを読み取り、それを踏まえて、あなた自身は「大学で学ぶということ」をどのように考えているかを600字以内で述べなさい。

まあ、学問をしたいというのは、人間の本能ですからな。学問をしたいのが本能じゃなくなっただけは現代ぐらいのもんです（会場笑）。今は、ただ黙っていたって教えてくれるのだから、学問への欲望がなくなるのですよ。昔は黙っていたら教えてもらえないし、学問の機会もなかなかなかった。子どもの頃に、人生とは何ぞやなんて疑問が起こっても、誰も教えてくれないから、これは非常に熱烈なものになるのです。だから、京都のどこかにそれを教えてくれる人が出たとなれば、千里を遠しとせず学びに行く。豆の袋を背負って、豆ばかり食べながら仁齋^註の講義を聞いたという人がいます。なにしろ面白いことが聞けるんだから、食うものは豆で充分なのです。仁齋の塾はそういう雰囲気だった。

仁齋というのは、ご承知のように、その頃のアカデミーの学問に大反対をした学者です。つまり、学問をするから百姓がうまくいく、それが学問というものだろうと言った。いくら学問をしたって百姓の仕事に何の足しにもならん、町人の仕事にも何の足しにもならん、そんな幕府の学問というのは学問ではないと言い放った人です。学問とは、人間がどうやって生活したらいいか、その根本を教えるものだ。そういう学問なら、百姓にでも町人にでも役立つはずだな。

注：伊藤仁齋 江戸時代前期の儒学者。寛永4～宝永2年（1627～1705）。著作に「論語古義」「孟子古義」などがある。

出典：国民文化研究会・新潮社編『小林秀雄 学生との対話』新潮社（2014年）より抜粋

令和3年度山梨大学医学部看護学科推薦選抜入学試験問題用紙

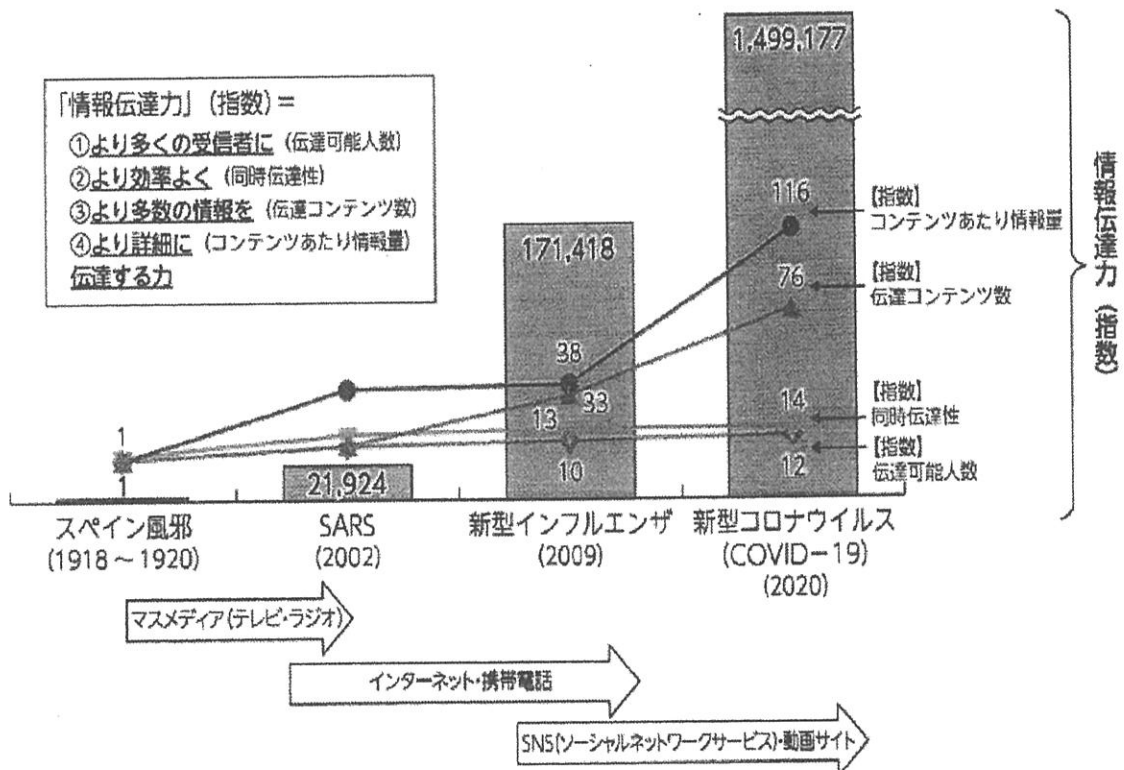
小論文Ⅱ

下の図は新型コロナウイルス感染症のパンデミック発生時の情報伝達力(指数)の推移をスペイン風邪流行時を1として示したものです。以下の問いに答えなさい。

【問1】図から読みとったことを100字以内で記述しなさい。

【問2】この図からどのようなことを考えますか。500字以内で記述しなさい。

図 パンデミック発生時の情報伝達力の推移(スペイン風邪流行時を1とした場合)



出典：総務省『令和2年版 情報通信白書』

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r02/pdf/n2300000.pdf> (令和2年10月5日現在) より一部改編

